

パリ 2024 パラリンピックに向けての決意表明

女子チーム ヘッドコーチ
辻 美穂子

女子チームは東京大会を銅メダルで終え、その悔しさを胸に抱き続けて3年間強化を進めてきました。あつという間の3年間でしたが、その間多くの困難を乗り越えてチームは着実に成長を遂げています。その中でも、今大会のチームは「主体性」をテーマに掲げています。選手、スタッフとも一人一人がチームの勝利のために何をすべきかを主体的に考え、自由な発想・発言が出るチーム作りを進めてきたので、試合の中でもその主体性が発揮されゲームを楽しむことが出来れば、必ず目標としている金メダルに手が届くと確信しています。

今大会の選手構成は、ベテラン、中堅、若手の3層構造で成り立っています。東京大会のチームも同様に三層構造で構成されていましたが、その当時の中堅選手がチームを支えるベテラン選手に、若手だった選手がチームの核となる中堅選手に成長し、そして今大会新たに若手選手がメンバー入りしたことで、また新しい化学変化も生まれつつあります。

東京大会準決勝で敗れたトルコ(東京大会金メダル)、昨年度の国際大会で負け続けた中国(東京大会 5 位)がライバル国となりますが、勝負のカギは守備にあると考えています。大きなバウンドボールや伸びてくるボールに対して守備の安定性を崩さず相手の攻撃の芽を摘むことが出来れば、日本にとってよい流れが必ず来ます。最後まで自分たちを信じ、粘り強く戦います。

パリで戦う選手スタッフは限られたメンバーですが、今回選ばれなかった選手や現地に帯同しないスタッフも含めたチーム全員で一丸となってできる限りの準備をして、最高の状態で本番の舞台に臨み、金メダルを掴み取りたいと思います。選手たちの躍動する姿が皆様に伝わるのが、今まで支えていただいた方々への恩返しとなり、ゴールボールの発展に繋がると考えておりますので、選手に向けて熱い声援を送っていただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。